

シニア向けカルチャー教室

日本コスモトピア

デイなど 介護事業者が導入



下向峰子
社長

—会社について教えてください。

下向 子供向けの学習教材制作事業からスタートしました。200

学習教材制作事業などを運営する日本コスモトピア（大阪市）は、パソコンを使ったシニア向けのカルチャー教材制作・販売と、カルチャー教室開業支援事業を行っている。下向峰子社長に話を聞いた。

1年に、パソコン教室で大人が使用できる教材ソフト「パソコンくらぶ」の提供を開始し、その後15年1月からシニア向けに興味要素を充実させたパソコン上でカルチャー教室を楽

しめる教材「カルチャーレストラン」の提供を開始しました。

—カルチャーレストランについて教えてください。

下向 シニアがパソコンを使って趣味・学習などに取組めるソフト教材です。いわゆるパソコン教室で行われているような、wordの使い方講座から、英語・漢字などの学習講座、ペーパークラフト・染め物といった趣味の講座まで、幅広く取り揃えています。パソコン

を使うだけでなく、英語・漢字などの学習講座、ペーパークラフト・染め物といった趣味の講座まで、幅広く取り揃えています。パソコン



▲ペーパークラフトや染め物も楽しむことができる

コンを用意するだけで、これらを導入できます。弊社は教材の制作・販売・コンサルテーションを行っています。フランチャイズではない

自由な形式で、パソコン教室経営者や介護事業者などに提供しています。

—FCでない展開方法とはどのようなものですか。

下向 特に「これが絶対」といったパッケージを決めずに展開しています。事業者によって地域に合った手法を選択できるように配慮しています。パソコン教室の中の学習コンテンツの1つという位置

づけで使用すること、デイサービスのレクの一環でコンテンツの一部を使用することも可能です。カルチャー教室として「カルチャーレストラン」の名前で開業することも、元々使用していた屋号のままでも用いることも可能です。介護施設と保育所の複合型施設の中にカルチャー教室として導入いただいている事例もあります。

—今後について教えてください。

下向 現在、社会福祉法人やデイなどの介護事業者が占める割合は2割程度です。将来的には介護事業者への導入を全体の約半分くらいにしていきたいと考えています。地域のケアカフェ・認知症カフェなどにカルチャーレストランのコンテンツを導入して、こもりがちでシニア世代を地域に引き込んでいけたらと思います。